（別記）

令和８年度上富良野町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

農家戸数の減少や農業経営の規模拡大、複合経営が進む中で、農業従事者の高齢化、後継者不足などによる農業労働力の減少が進んでいる。このような状況の中で、持続的な農業の発展を図っていくためには、効率的で安定的な農業経営を目指し、地域農業を支える優れた担い手の育成・確保が必要とされる。

また、湿害による収量減少が当該地域で問題となっていることから、心土破砕等の湿害対策を実施することにより、収量、品質の安定・向上、作付面積の拡大を図る。また、町内の約 1,125ha の水田について、産地交付金を有効に活用しながら、作物の維持・拡大を図る。

そのほか、農業者の減少・高齢化が進む中、地域計画に基づき、農地中間管理機構制度等を活用し、担い手への農地の集積と集約化を加速化し、農業の生産性向上を図る。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

上富良野町は山に囲まれた盆地による内陸性気候が特徴の地域である。この地域は年間を通しての気温差が大きいため、その寒暖差を活かしたじゃがいもやメロン、スイートコーンなどの高収益作物が多く栽培されている。今後はこの気候条件を活かした作物選択の推進や、富良野地域としてのブランド力強化による付加価値の向上等に取り組み、地域全体として、より一層農業の推進に取り組んでいく。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在、水田の基盤整備が行われており、事業終了後には農業者にとって耕作しやすい農地となる予定であることから、水稲の作付面積を維持していく。毎年、作付内容については聞き取りにて確認しており、今後の水稲作付動向によっては、主食用米以外についても適宜作付けに取り組むこととする。また、転作をしている作物の連作障害を回避するために、必要に応じてブロックローテーション体系の構築を目指す。なお、ブロックローテーション体系の導入にあたっては、作物の品質、収量、作業効率及びほ場の排水性の低下等の課題が与える農業者への影響を考慮しつつ対応していく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

生産の目安を最大限に活用し、需要に応じた安定供給できる水田機能の維持と生産力の確保を図る。

（２）備蓄米

今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。

（３）非主食用米

ア　飼料用米：今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。

イ　米粉用米：今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。

ウ　新市場開拓用米：今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。

エ　WCS 用稲：今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。
オ　加工用米：今後の水稲作付動向を考慮し、適宜作付に取り組む。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については、多収で障害や病虫害に強く、高品質な品種を育成するとともに、適切な施肥、栽培管理、適期収穫を行い、単収及び品質の向上を図る。

飼料作物については、安定生産・安定供給を図ることとし、効率的な生産体系の確立を図る。

（５）そば、なたね

現状、作付計画はないが、今後は生産者の意向をふまえ、適宜取り組みを実施する。

（６）地力増進作物

高収益作物の栽培や環境負荷の低減に資するために、えん麦、キカラシ等のほ場状態に対応した地力増進作物の作付けを推進する。

（７）高収益作物

地域振興作物として位置づけ、産地交付金等を活用し、作付面積の拡大を図る。

また、高収益作物の作付けに対して、農業経営の維持及び農業所得の向上を図る農業者へ助成する。

（８）てん菜、馬鈴しょ

近年、湿害によるてん菜及び馬鈴しょの収量減少が当該地域で問題となっていることから、心土破砕の湿害対策を実施することにより、収量、品質の安定・向上、作付面積の拡大を図る。

（９）小豆、菜豆、えん豆

多収で障害や病虫害に強く、高品質な品種を育成するとともに、適切な施肥、栽培管理、適期収穫を行い、単収及び品質の向上を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	786.0		818.0		690.3	
備蓄米						
飼料用米	0.0		0.0		0.0	
米粉用米						
新市場開拓用米	1.4		1.4		2.5	
WCS用稲						
加工用米						
麦	162.2		148.2		123.3	
大豆	70.3		55.4		56.5	
飼料作物	43.6		38.6		33.6	
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物	3.0		0.0		0.0	
高収益作物	74.5		53.2		103.0	
・野菜	74.1		52.8		102.2	
・花き・花木	0.4		0.5		0.7	
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他	50.4		49.7		50.4	
てん菜	5.6		5.6		2.0	
小豆	15.0		15.1		16.1	
菜豆						
その他	4.3		4.1		7.4	
苗床、基盤整備等	24.9		24.9		24.9	
畑地化	68.8		27.2		38.0	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	春小麦・大豆	透・排水性対策助成	作付面積 単収(春小麦) 単収(大豆)	(R7年度) 126.9ha (R7年度) 313kg/10a (R7年度) 260kg/10a	(R８年度) 157.86ha (R８年度) 316kg/10a (R８年度) 249kg/10a
2	秋小麦	透・排水性対策助成	作付面積 単収	(R7年度) 105.6ha (R7年度) 492kg/10a	(R８年度) 86.5ha (R８年度) 443kg/10a
3	馬鈴薯(生食用・加工用・種子用)	透・排水性対策助成	作付面積 単収	(R7年度) 39.8ha (R7年度) 3,162kg/10a	(R８年度) 41.7ha (R８年度) 4,330kg/10a
4	小豆・菜豆・えん豆	透・排水性対策助成	作付面積 単収	(R7年度) 19.3ha (R7年度) 205kg/10a	(R８年度) 18.6ha (R８年度) 223kg/10a
5	野菜	高収益作物助成	作付面積	(R7年度) 33.9ha	(R８年度) 41ha
6	花き、果樹、花木	高収益作物助成	作付面積 単収	(R7年度) 0.4ha (R7年度) 228kg/10a	(R８年度) 1.23ha (R８年度) 249kg/10a
7	飼料作物（ＷＣＳ用稲、飼料用米を除く）	飼料作物団地化助成	作付面積 取組面積 集積率	(R7年度) 43.64ha (R7年度) 34.79ha (R7年度) 79.7%	(R８年度) 25.98ha (R８年度) 11.54ha (R８年度) 44.4%
8	てん菜	透・排水性対策助成	作付面積 単収	(R7年度) 5.61ha (R7年度) 6,271kg/10a	(R８年度) 2.20ha (R８年度) 6,630kg/10a
9	新市場開拓用米	新市場開拓用米作付助成	作付面積 単収	(R7年度) 1.40ha (R7年度) 591kg/10a	(R８年度) 2.44ha (R８年度) 559kg/10a

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：上富良野町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	透・排水性対策助成	1	4,800	春小麦・大豆	心土破砕、たい肥施用等
2	透・排水性対策助成	1	2,800	秋小麦	心土破砕、たい肥施用等
3	透・排水性対策助成	1	35,100	馬鈴しょ（生食用・加工用・種子用）	心土破砕、たい肥施用等
4	透・排水性対策助成	1	35,100	小豆、菜豆、えん豆	心土破砕、たい肥施用等
5	高収益作物助成	1	30,900	野菜　（品目名は別紙のとおり）	作付面積に応じて支援
6	高収益作物助成	1	10,300	花き、果樹、種苗類、花木 （品目名は別紙のとおり）	作付面積に応じて支援
7	飼料作物団地化助成	1	11,100	飼料作物 （WCS用稲、飼料用米を除く。品目名は別紙のとおり）	団地化された作付面積に応じて支援
8	透・排水性対策助成	1	40,300	てん菜	心土破砕、たい肥施用等
9	新市場開拓用米作付助成	1	17,100	新市場開拓用米	土壌診断結果に基づく施肥、融雪剤散布等

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙１　対象作物品目

区分	
野菜	アイスプラント
	あさつき
	明日葉
	味美菜
	アスパラガス（グリーン）
	アスパラガス（ホワイト）
	アスパラガス（紫）
	アレッタ
	いちご
	いんげん
	うど
	うり
	エゴマ
	えだまめ
	大麦（若葉収穫用に限る）
	オクラ
	カイラン
	かいわれだいこん
	かぶ
	かぼちゃ
	カリフラワー
	かんしょ
	菊菜
	きのこ
	キャベツ
	きゅうり
	ぎょうじゃにんにく
	グラパラリーフ
	クレソン
	くわい
	ケール
	ゴーヤ
	こごみ
	ごぼう
	こまつな
	こもちかんらん
	こんにゃく
	ささげ

区分	
野菜	さつまいも
	さといも
	サニーレタス
	さやいんげん
	さやえんどう
	サラダ菜
	サンチュ
	ししとう
	しそ
	しそ（香料）
	しゅんぎく
	じゅんさい
	しょうが
	食用キク
	食用ハーブ
	食用ゆり（ゆりね）
	シロウリ
	しろ菜
	スイートコーン
	すいか
	ズッキーニ
	スティックセニョール
	スナップエンドウ
	せり
	セルリー
	ぜんまい
	そらまめ
	ソルトリーフ
	タアサイ
	だいこん
	たいな
	たまねぎ
	たらの芽
	チコリ
	ちんげんさい
	テンダーポール（花ニラ）
	とうがらし
	冬瓜

区分	
野菜	トマト
	ながいも
	なす
	なた豆
	菜花
	なんばん
	にがうり
	にら
	にんじん
	にんにく
	にんにくの芽
	ねぎ
	野沢菜
	はくさい
	パセリ
	花みょうが
	パプリカ
	はまぼうふう
	ピーマン
	広島菜
	ふき
	ブロッコリー
	ベビーリーフ
	ほうれんそう
	まくわうり（カンロ）
	実えんどう（グリーンピース）
	みずな
	水わさび
	みつば
	実取りカラシ
	ミニかぼちゃ
	ミニトマト
	みぶ菜
	みょうが
	メロン
	モロヘイヤ
	ヤーコン
	山ごぼう

区分	
野菜	大和芋
	野菜苗
	やまのいも
	山わさび
	ゆりね
	落花生
	らっきょう
	ラディッシュ
	リーキ（ポワロ）
	ルッコラ
	ルバーブ
	レタス
	れんこん
	ロマネスコ
	わさび
	わさびだいこん
	わらび
	その他協議会が認めたもの

区分	
花き	アイリス
	アゲラタム
	アザミ
	アジサイ（切枝）
	アスクレピアス
	アストランチャ
	アスパラガス（観賞用）
	アトランティアマヨール
	アナベル（切枝）
	アネモネ
	アマランサス
	アリウム
	アリストロメリア
	アルケミラ
	アルブカ
	アロニア（切枝）
	イキシア
	イタリアンルスカス
	インパチェンス
	ウイキョウ
	ウインターグラジオラス
	うばゆり（ユリ科）
	ウメモドキ（切枝）
	エキノプシス
	エボタ
	エリンジウム
	エレムルス
	オオデマリ（切枝）
	オーニソガラム
	オダマキ
	オレガノ
	カーネーション
	ガーベラ
	カキツバタ
	カスミソウ
	かぼちゃ（観賞用）
	ガマ（ガマ科）
	カラー
	カンゾウ

区分	
花き	カンパニュラ
	きいちご（観賞用）（切枝）
	ギガンジウム
	キク
	菊アスター（キク科）
	切葉類
	キャラウェイ
	キャンディタフト
	金風車（キク科）
	きんぎょそう
	クジャクソウ
	グラジオラス
	グラスペディア
	クリスマスローズ
	クレマチス
	グロリオーサ
	けいとう
	小菊
	コスモス
	コティナス
	コデチャ
	コデマリ
	コワニー（ユリ科）
	サイネリア
	サクラ（切枝）
	桜小町
	サクラソウ
	サリクトラム
	サンダーソニア
	シオン（キク科）
	シクラメン
	ジニア
	シモツケ
	シャクヤク
	宿根デージー
	ショウブ
	シレネ
	白妙菊
	シンフォリカルフォス（切枝）

区分	
花き	スイートピー
	スイセン
	スカビオサ
	スキミア
	スズメウリ
	スズラン
	スターチス
	スタキス
	スティパ
	ストック
	ストロベリーコーン
	ストロベリースティック
	スナップ
	スノーボール（切枝）
	スピードリオン
	スモークグラス
	スモークツリー（切枝）
	スモグソウ
	セダム
	セファロフォラ（加工用）
	ゼラニウム
	セロシオ
	セントーレアオリエンタリス
	千日紅
	センニチソウ
	ソリダコタラ
	ソリダスター
	ダイアンサス
	大根草
	ダスティーミラー
	ダリア
	チドリソウ
	チューリップ
	チョコレートコスモス
	ツルウメモドキ（切枝）
	てまり草
	テマリシモツケ
	デルフィニウム
	とうがらし（観賞用）

区分	
花き	トリカブト
	トリトマ
	トルコギキョウ
	トロリウス
	ナス（観賞用）
	ナデシコ
	ナナカマド（切枝）
	ナルコユリ
	ニゲラ
	ネマヘラソウ
	ネムリヒメ（アヤメ科）
	ネリネ
	バイカウツギ（切枝）
	ハス
	とうきび（観賞用）
	花苗
	ハナナス
	パニカム
	パプチシア
	ハボタン
	バラ
	バラ実もの（切枝）
	パンジー
	ビオラ
	ビブルナム
	ヒペリカム（切枝）
	ヒマワリ
	ヒメヒコダイ
	ヒメヒマワリ
	ヒャクニチソウ
	ピンピネラ
	フェンネル
	フサスグリ（切枝）
	ふじなでしこ
	フジバカマ
	ブッチーニ（ウリ科）
	ブプレウルム
	フリージア
	ブルースター

区分	
花き	ブルースプレー
	ブルビネラ
	フロックス
	ベコニア
	ペチュニア
	ベニバナ（カルタムス）
	ヘリクリサム
	ヘレニューム
	ベロニカ
	ポインセチア
	ホオズキ
	ボタン
	ホトトギス
	マーガレット
	マトリカリア
	マンサク
	ミズヒキ
	ミナズキ（切枝）
	ムギ（観賞用）
	ムスカリ
	紫式部（切枝）
	メコノプシス
	メロン（観賞用）
	モナルダ
	モルセラ
	ヤナギ（切枝）
	ヤマゴボウ
	山ブドウ（ブドウ科）
	ユーカリ
	ユーストマ
	ユーパトリウム
	ユーホルビア
	ユキヤナギ（バラ科）
	ユリ
	洋ラン類
	ラークスパー
	ライラック（切枝）
	ラナンキュラス
	ラベンダー

区分	
花き	ラムズイヤー
	リアトリス
	リナリア
	リオン
	リシマキア
	リンゴ（観賞用）（切枝）
	リンドウ
	ルドベキア
	ルリタマアザミ
	レースフラワー
	ローズマリー
	ロマネスコ
	ワレモコウ
	利休草
	アスター
	アスチルベ
	その他協議会が認めたもの
果樹	りんご⑧
	ぶどう⑧
	なし⑧
	もも⑧
	おうとう⑧
	すもも⑧
	ブルーベリー⑦
	カーランツ（ふさすぐり）⑦
	グーズベリー（すぐり）⑦
	ハスカップ（ｸﾛﾐﾉｳｸﾞｲｽｶﾞｰ）⑦
	プルーン⑧
	アロニア⑦
	ラズベリー⑦
	きいちご⑦
	果樹苗
	その他協議会が認めたもの
花木（観賞用樹木）	アジサイ
	アナベル
	アロニア
	イチイ
	かえで
	カリンズ

区分	
花木（観賞用樹木）	きいちご（観賞用）
	金宝樹
	コティナス
	サクラ
	サツキ
	サンゴミズキ
	シキンカラマツ
	常緑樹
	シンフォリカルポス
	スノーボール
	ツゲ系
	ツツジ
	苗木
	ナナカマド
	バラ実もの
	ヒバ系
	ヒペリカム
	ブルーベリー（観賞用）
	マンサク
	ミナズキ
	モミジ
	ユーカリ
	エニシダ
	オオデマリ
	カイヅカイブキ
	ウメモドキ
	ライラック
	落葉樹
	その他協議会が認めたもの
飼料作物	アカクローバ
	シロクローバ
	アルサイククローバ
	アルファルファ
	ガレガ
	オーチャードグラス
	チモシー
	トールフェスク
	メドウフェスク
	ペレニアルライグラス

区分	
	イタリアンライグラス
	ケンタッキーブルーグラス
	スムーズブロムグラス
	とうもろこし
	えん麦
	飼料用大麦
	デントコーン
	その他協議会が認めたもの

整理番号5の対象
整理番号6の対象
整理番号7の対象

果樹の数字については、新植からの対象年限